

● 名古屋駅周辺地下公共空間整備について

(1) 整備方針

- 1 名古屋駅地区から、国際歓迎・交流拠点のささしま地区や名駅南地区への歩行者のアクセス改善を図り、各地区の一層の開発を誘導促進するまちづくりの一環として、新たな歩行者空間整備を実施する。
- 2 既設地下通路・地下街を最大限に活用し、移動性・安全性・快適性に優れた歩行者ネットワークの形成を図る。
- 3 公共による地下公共空間の整備と沿道の民間開発との接続・連携整備により、官民一体となった賑わいの創出を図る。
- 4 当面の歩行者増加に対応していくための段階的な整備を推進する。

(2) 段階的整備の内容

| 段階 | 内容(箇所) | 整備主体 |
|------|---|------|
| 第1段階 | 横断歩道の拡幅等の実施(笹島交差点及び下広井交差点) ・平成23年度実施 | 本市 |
| 第2段階 | 地下公共空間の整備(笹島交差点～下広井交差点以南) ・平成23年度整備計画作成、平成25年度着工を目指す | 本市民間 |
| 第3段階 | 民間再開発による地下横断施設整備(笹島交差点西側 南北横断) ・早期整備に向けた協議を進める | 民間 |

